

# 難民支援 NGO “Dream for Children” 2016 年度活動報告書



## 目次

ご挨拶	2
2016 年度の子ベットの状況	3
2016 年度のビルマの状況	7
2016 年度の活動	8
2016 年度会計	14
付録 1：チベット難民からのサンクスレター	15
付録 2：27 年間中国政府に投獄されたチベット難民 アマ・アデへの独占インタビュー	16
付録 3：チベット難民の生徒たちは今	19

## [表紙写真]

2016 年夏に亡命に成功したテンジン・デレク・リンポチェの姪ニマ・ラモ

## ご挨拶

皆様には平素より格別のご支援をいただきまして、ありがとうございます。

2016年、チベット人ニマ・ラモ（26）が亡命に成功しました。中国当局による国境警備強化に伴う亡命成功者の激減の中、久しぶりに世界的に注目を浴びる人物の亡命でした。

ニマ・ラモはチベットの高僧テンジン・デレク・リンポチェの姪です。テンジン・デレク・リンポチェはチベット人の教育に努めていましたが、その人気をねたむ中国政府から不当に死刑判決を受けました。この判決に対する国際的な抗議の声を受け、刑は終身刑に減刑されましたが、2015年、獄中で息を引き取りました。

ニマ・ラモは、テンジン・デレク・リンポチェがそもそも無実であること、テンジン・デレク・リンポチェが毒殺されたことを訴えています。ニマ・ラモは高齢の母と6歳の娘をチベット本土に残して亡命しました。ニマ・ラモが外国人に話をすれば、ニマ・ラモの家族が中国政府から迫害を受けるのは必至です。それでも、ニマ・ラモは、「家族の問題よりは、真実と正義という普遍的なものの方が大事だ」と語っています。

同じ地球の上にニマ・ラモのような境遇にいる若い人がいるというのが世界に少しでも広まることを願っています。

代表 亀田浩史

## 2016 年度の子ベットの状況

チベット本土は、依然として、中国政府によるチベット人への激しい民族弾圧・宗教弾圧が続いています。

### 【続く焼身自殺】

2011 年から急増している焼身自殺が 2016 年度も続きました。2016 年度は、チベット本土で 3 人が、中国政府のチベット弾圧政策に抗議して自らの体に火を放ちました（焼身自殺自体は 2015 年度だが、中国政府によるインターネット遮断のため海外に情報が伝わったのが 2016 年度になった 1 人を含む）。2016 年度末でのチベット本土での累計の焼身自殺者は 147 人となりました。

### 【テンジン・デレク・リンポチェの姪ニマ・ラモが亡命に成功】

2016 年 7 月、チベットの高僧テンジン・デレク・リンポチェの姪ニマ・ラモが亡命に成功しました。

テンジン・デレク・リンポチェは、チベット人の教育・環境保護活動などを行っていましたが、爆弾事件に関与したという濡れ衣を中国政府にかけられ、投獄されました。当初、死刑判決が出ていましたが、国際社会の圧力により、終身刑に減刑されました。そして、2015 年 7 月、獄中死しました。ニマ・ラモは、テンジン・デレク・リンポチェが毒殺されたと訴えています。

ニマ・ラモは高齢の母親と 6 歳の娘をチベット本土に残して亡命しました。ニマ・ラモが真実を話せば、家族が中国政府から迫害を受けるのは必至です。それでも、ニマ・ラモは、世界に真実を知らせる方が大事だと訴えています。



亡命直後のニマ・ラモと代表亀田浩史

[ニマ・ラモへの独占インタビュー]

Q

なぜ亡命を決意したのですか？

A

チベットには自由がありません。叔父のテンジン・デレク・リンポチェについて真実を語ることはできません。そのため、私は真実を伝えるために、自由の国に亡命してきました。

Q

テンジン・デレク・リンポチェは殺害されたのですか？

A

はい、殺害されました。

叔父の死の直後、親族は叔父の遺体と対面することを認められませんでした。中国当局は、叔父が病気で病院から薬をもらっていたと説明しました。そこで、私たちは医師の氏名、病院の場所、診断書の開示を求めました。しかし、中国当局はすべてを拒否しました。情報を開示しないということは、中国当局の説明が虚偽だということです。

数日後、遺体を見ましたが、唇と爪が真っ黒になっていました。毒殺に間違いありません。

Q

テンジン・デレク・リンポチェの死後、あなたも中国当局に拘束されましたよね？

A

テンジン・デレク・リンポチェの死後、母が悲しみのあまり衰弱しました。すると、中国当局は、病院に行った方がいいと言い、私たちを連れ出しました。事実上の軟禁状態でした。

Q

そもそも、テンジン・デレク・リンポチェはなぜ投獄されたのですか？

A

理由は複数あります。1つ目は、チベット人の教育につとめたこと、2つ目は、動物の殺生を制限したこと、3つ目は、仏教の普及につとめたこと、4つ目は、老人の介護につとめたことです。このような活動のために叔父は人々の支持を集めていました。中国当局は、この支持が脅威になると感じたのです。

Q

あなたの家族はチベットにいますよね？あなたが外国人に話をする事で、家族が中国当局から迫害を受けませんか？

A

中国当局は、叔父の話を隠そうとするでしょう。私の母と6歳の娘はチベットにいます。中国当局が家族をどうするかはわかりません。家族を迫害するかもしれません。それでも、私たち家族は叔父の話を世界に広めるべきだと決めただのです。家族の迫害の問題は、叔父の正義に比べれば小さな問題です。

Q

今後の予定は決まっていますか？

A

叔父の話をする機会があればどこにでも行くつもりです。世界には人間の血の通った人がいるはず。本当に人間の血が通った人がいるのなら、真実に目を向けてくれるはず。そういう人たちは私の話を広めてくれるはず。あなたも、日本人たちに真実を伝えてください。日本人だろうとチベット人だろうと同じ人間です。正義はすべての人間に共通のもので。

### 【中国政府がチベット仏教施設ラルン・ガルを大規模破壊】

中国政府が東チベットにあるチベット仏教施設ラルン・ガルを大規模に破壊し、僧侶・尼僧を追放しました。破壊された住居は数千、追放された人々は数万人にのぼると見られます。

仏教を学ぶ希望を絶たれた尼僧4人が自殺をはかり、3人が息を引き取りました。

中国政府は現地周辺への外国人の立ち入りを禁じており、外国人の目が届かない状況で、破壊、追放が進んでいます。



インドのダラムサラでラルン・ガル破壊停止を  
求めるチベット難民

## 【チベット亡命政権ロブサン・センゲ首相再選】

インドのダラムサラに拠点を置くチベット難民の政権チベット亡命政権の首相選が行われ、ロブサン・センゲ首相が再選を果たしました。

2017年2月には、再選後初来日され、2016年に発足した日本チベット国会議員連盟の議員と会談しました。

また、ダラムサラの首相官邸で、難民支援NGO “Dream for Children” 代表亀田浩史とも会談しました（詳細は後述）。



来日されたロブサン・センゲ首相

## 【ダライ・ラマと会談したレディー・ガガが中国入国禁止に】

ダライ・ラマと会談したレディー・ガガに対し、中国政府は入国禁止の措置を発表しました。また、レディー・ガガの楽曲等のアップロードも中国では禁止となりました。

## 【インドのモディ首相が高額紙幣を無効化し、インド全土で大混乱】

11月、インドのモディ首相が「1000ルピー札と500ルピー札の使用を4時間後に停止する」と突然発表し、これらの紙幣が使用不可となりました。これらの紙幣は流通紙幣総額の90%程度を占めていました。

発表の4時間後に新2000ルピー札と500ルピー札が投入されたのですが、数がまったく足りず、インド全土が現金不足の状態に陥りました。このため、チベット難民街を含むインド全土で人々が買い物がほとんどできない事態となり、ビジネスに大打撃が出ました。

## 2016年度のビルマの状況

我々の直接の支援先であるビルマ東部では大きな事件はなく小康状態ですが、ビルマ西部を中心に情勢は不安定です。そのため、難民の人たちが今すぐ安全に帰国できるとは言えない状況です。

### 【政府主導によるロヒンギャ人の迫害】

政府によるイスラム教徒のロヒンギャ人の迫害が続いています。

BenarNews がバングラデシュに亡命したロヒンギャ人女性にインタビューしたところ、彼女たちの3分の1 がビルマ政府軍にレイプされたということです。また、子供が生きのまま政府軍に焼き殺されるという事件も相次いでいます。

こうした状況からロヒンギャ人は隣国のバングラデシュに亡命を続けており、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の推計では、2016年10月以降6万5千人がバングラデシュに流入したということです。

アウンサンスーチーを含む政府首脳陣は、国民の多数を占める仏教徒の機嫌を取るため、この問題に対しては沈黙を貫いています。



## 2016年度の活動

	国内の活動	現地の活動
4月	チャリティ英語セミナー（名古屋）	
5月	ロビー活動	
6月	国際人養成事業	
7月		インドの子ベット難民街での支援活動 ・物資支援 ・英語教育
8月		・コンピュータ教育 ・その他就職対策教育
9月		・現地調査 ・スタディーツアー
10月	ロビー活動	
11月	国際人養成事業	
12月		インドの子ベット難民街での支援活動 ・物資支援 ・英語教育
1月	光が丘女子高校での講演会	・コンピュータ教育 ・その他就職対策教育 ・現地調査
2月	チャリティ英語セミナー（名古屋）	
3月	国際協力セミナー（名古屋） 『チベット難民の今 ～今同じ地球の上 で起きていること～』	

## 国内の活動

国内では難民問題の啓発活動に重点を置いて活動を継続しています。

### 【ロビー活動】

2016年度も、日本の政治家にチベット問題を知ってもらうためのロビー活動を実施しました。その結果もあってか、下村博文元文部科学大臣を会長とする日本チベット国会議員連盟が発足しました。

### 【講演会】

2016年度もチベット難民関連のセミナーを行いました。光が丘女子高校での講演会も行いました。今年度は、2016年に亡命に成功したニマ・ラモの話を中心に行いました。

セミナーは、これまで講演会参加者の94%の方に、「非常に満足」、「満足」とご回答いただいています。

### 【ブログでの啓発活動】

現地メディアのニュースのうち日本のメディアが取り上げない情報を中心に、ブログで情報拡散を続けています。ブログのアクセス数も300万を突破し、多くの方に見ていただけるようになってきました。

### 【国際人養成事業：名古屋英語特訓道場】

チャリティセミナーとして2回のセミナーを行いました。また、通期での英語指導も行っています。収益は難民支援活動にあてています。

## 現地の活動

ビルマ東部と比較してチベット情勢が著しく悪いため、2016年度もインドのチベット難民街で集中的に活動を行いました。

### 【物資支援】

文具、衣類を、チベット難民の子供たちが暮らすチベット子供村へお届けしました。



亡命直後のチベット難民の子供

### 【チベット難民の学校での英語・コンピュータ教育】

亡命直後で言葉が通じず困窮している難民向けの英語教育を継続しています。また、就職に有利になるようコンピュータ教育も実施しています。

さらに、放課後の空き教室を使って、過去に不当投獄・拷問を受けたチベット人の話を聞く場を設け、外国人向けに啓発活動を行っています。



チベット難民の学校の様子

### 【チベット亡命政権ロブサン・センゲ首相との会談】

チベット亡命政権首相に再選されたロブサン・センゲ博士との会談を行いました。首相は、教育、特に高等教育の重要性を訴えておられました。これを受け、難民支援 NGO “Dream for Children” では、高等教育を志向する難民の若者への返済不要の奨学金の支給を開始しました。



会談を終えたロブサン・センゲ首相と代表亀田浩史

## 〔ロブサン・センゲ首相への独占インタビュー：日本人へのメッセージ〕

親愛なる日本の皆さん、こんにちは。

私は会議やイベントで東京に行ったことがあります。日本の豊かな伝統、文明は素晴らしいとかねがね思っています。日本人の礼儀正しさ、謙虚さにも心を打たれます。日本のおいしい食べ物も大好きです。家族全員が寿司愛好家です。

日本人のみなさんの中にはチベットについてご存知の方もご存じでない方もいらっしゃると思います。今、チベットは中国の占領下にあります。チベット本土のチベット人は弾圧に苦しんでいます。今はチベットにとって重要な時期であり、チベットはみなさんのご支援を必要としています。みなさんのご支援がチベット人の大きな支えになります。

チベットは仏教国ですが、宗教の自由が奪われています。日本の皆さんにはこのチベットの状況をもっと知っていただければと思います。

チベットはかつて文明国でした。豊かな歴史と仏教文化を育んできました。しかし、今は弾圧に苦しんでいます。

また、チベットに源流を発するアジアの河川が多数あります。チベットは、アジア全域にとって、地政学的に、環境学的に重要な場所です。

これらのことをぜひ心に留めていただければと思います。チベットのために祈ってください。そして、支援してください。みなさんのご支援は大きな意味を持ちます。みなさんのご支援に感謝します。

## 【高等教育を志向する難民への返済不要の奨学金支給開始】

ロブサン・センゲ首相との会談を受け、高等教育を志向する難民への返済不要の奨学金支給を開始しました。最初の受賞者は、チベット難民街の医療状況を改善すべく、医学を学ぶ難民に決定しました（彼の家族はチベット本土におり、亡命していることが中国政府にばれると、中国政府から迫害を受ける可能性があるため、氏名等の情報は開示できません）。

[奨学金受賞者からのメッセージ]

大学が始まりました。

私の高等教育のためのサポートに心から感謝します。

近い将来にお会いできると嬉しいです。

【チベット難民街を訪ねるスタディーツアー実施】

インドのダラムサラを訪ねるスタディーツアーを実施し、チベット難民が置かれている状況、チベット本土で起きていることを学びました。

## 2016 年度会計

単位 [円]

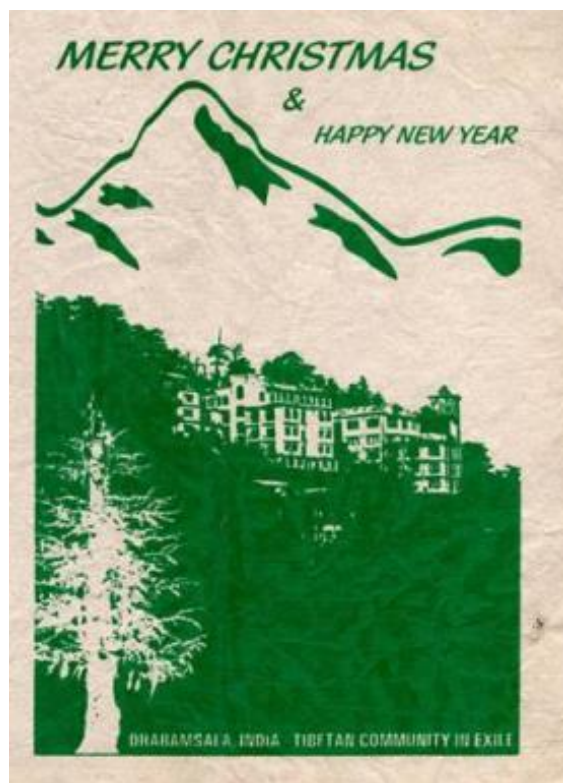
前年度繰越	▲ 425, 773
収入	
事業収入	1, 748, 987
会費収入	85, 000
助成金	0
寄付（一般寄付）	1
寄付（現地支援寄付）	50, 499
計	1, 884, 487
支出	
啓発事業費	289, 095
海外事業費	241, 732
国際人養成事業費	196, 206
現地への寄付	684, 198
旅費・交通費	330, 349
管理費	317, 655
広告費	12, 693
印刷費	91, 843
送料	16, 185
計	2, 179, 957
今年度収支	▲ 295, 470
次年度繰越	▲ 721, 243

【付録 1：チベット難民からのサンクスレター】

[チベット子供村から]



[チベット女性協会から]





## 【付録 2 : 27 年間中国政府に投獄されたチベット難民

### アマ・アデへの独占インタビュー】

これから私の経験についてお話ししたいと思います。現在、私は 87 歳で、もうすぐ 88 歳になります。私は人生のうち 27 年を獄中で過ごしました。話すことはたくさんあり、とてもすべてを網羅することはできませんので、要点をお話ししたいと思います。私は特に教育を受けていません。しかし、ダライ・ラマ法王のアドバイスに従って、私の身に起きたことを正直にお話ししたいと思います。

中国人がやってくる前は、チベットは平和で、すべての人が仏教を信仰し、幸せな生活を送っていました。特に、ダライ・ラマ法王は特別な存在でした。

しかし、突然、中国人がチベットにやって来ました。当初彼らは、「チベットを助けるため、我々は毛沢東主席から遣わされました。」とっていました。中国人はチベット人にお金を配りました。中国人は、「仏教は素晴らしい。ダライ・ラマは最高の人物だ。」と言いました。中国人は、仏教僧院に行き、祈りを捧げていました。中国人はとてもいい人のように見えました。しかし、チベット人思想家の中には、あまりにも親切すぎる中国人の行動に疑念を抱く人もいました。

しかし、ある日、中国人の態度は急変しました。中国人は、「ダライ・ラマは悪人だ。仏教はよくない。無宗教がいい。」と言いました。これを聞いたチベット人は、中国人に怒りを覚えました。

その後、東チベットのアムドとカムの子ベットの人は、会合を開き、中国人がラサに入るのを防ごうと決めました。ダライ・ラマ法王の命が危ないと考えたからです。

3 年後、中国軍はチベットへの攻撃を開始しました。チベット人の武器は原始的で、兵士の数も十分でなく、近代兵器を持つ中国軍にやられていきました。男の兵士は殺され、私を含む村の女性 300 人は拘束されました。

拘束された女性は、ある建物へ連れて行かれました。最初のうちは、食べ物も与えられませんでした。与えられたのはスープだけでした。徐々に女性は餓死し始めました。しかし、私は何とか餓死を免れました。食べものがなく、革靴を食べました。生き残ったのは4人だけでした。300人近くが餓死しました。生き残ったのが4人になった段階で、中国軍は私たちに食べ物を与え始めました。

その後、4人は外へ出ることを許されました。外にはたくさんの死体が転がっていました。中国兵は、「チベット人12,000人を殺した。」と言いました。多くのチベット人が涙を流していました。私は、この状況をダライ・ラマ法王に伝えると胸に誓いました。

当時、ニュースレポーターはいませんでした。情報は閉ざされていました。世界中の誰もが知らない中で、殺戮が行われていました。

その後、中国軍は生き残ったチベット人を投獄し始めました。投獄された刑務所では、パンと野菜が出されたため、餓死者は出ませんでした。

中国軍は当時、仏教僧院を破壊していました。中国軍は経典をチベット僧の前に持ってきて、破って踏みつけるよう命じました。

毛沢東の死後、私は釈放されました。獄中生活は27年間になりました。刑務所では拷問もあり、多くの人が獄中死しました。私が生き延びたのはダライ・ラマ法王のご加護のお蔭だと思います。私は右耳を蹴られて右耳が聞こえなくなりましたが、命は落とさずにすみました。

釈放後、子供と会いましたが、27年の歳月は長く、お互いが誰かわからないほどでした。娘は今チベット本土にいますが、連絡を取ることはできません。中国当局が私を敵視しており、娘とコンタクトを取れば娘の身に危険が及ぶからです。もう娘とは会えないかもしれません。しかし、家族と会うこと以上に、外国人に私の話を聞いてもらうことが大事なのです。チベットの問題に比べれば、家族の問題など小さなことです。

亡命成功後、多くの人に会うことができました。ダライ・ラマ法王と会ったとき、私の目に涙があふれ、ダライ・ラマ法王の顔を見ることができませんでした。

30か国の代表が集まる国際会議で話をする機会もありました。話をするとき、私の頬を涙が伝いました。その会議には中国の代表者も出席していました。私の話を聞いた人たちが中国の代表者に、「彼女の話は真実か？」と聞きましたが、中国の代表者は「知らない。」とだけ答えました。

チベットの状況は悪化しています。今、中国当局はチベット仏教施設ラルン・ガルを破壊しています。多くの僧侶や尼僧を追放しています。さらに、140人以上のチベット人が焼身自殺をしています。彼らは、ダライ・ラマ法王の帰還、チベットの自由を求めています。もし彼らが幸せなら、どうして焼身自殺する必要があるのでしょうか？

国連も中国の圧力を受け、何もしてくれません。それでも、私は、世界中の人たちが、真実と幸福を愛していると信じています。チベット人は真実を語り、中国政府は嘘をついています。中国政府は金のお話をします。チベット人は平和のお話をします。一般の中国人にも幸せになってほしいと願っています。

私は教育を受けていません。高等教育を受けた海外のみなさんがチベットのことをサポートしてくれることを願っています。私の話を多くの人に伝えてください。



アマ・アデと代表亀田浩史

## 【付録3：チベット難民の生徒たちは今】

### 1. マギー（仮名）

子供の頃に姉と2人で亡命してきた彼女。チベットのために何かしたいと常に言っていた彼女は英語の上達も速く、1年で日常生活には支障のないレベルまで上達しました。

彼女は、未来を担うチベット人を育てたいという希望から、チベット本土へ戻って行き、子供たちの教育を行っています。



マギーが東日本大震災の被災者に向けて書いたメッセージ

### 2. カミメロ（仮名）

幼い時に1人で亡命した彼。チベットの歌が好きで、いつも歌を歌っていました。ドイツに住む親族のもとへの亡命を試みていましたが、ドイツの難民認定が厳しく、1年以上にわたって何度も役所に出向いて様々な書類を提出していました。最終的にドイツに渡ることができ、今ではドイツで元気に暮らしています。